

もう一度、会いたい

もう一度、行きたい

長崎県情報誌「ながさき『にこり』」は、二〇二六年に新しく生まれ変わります。

『にこり』は創刊以来、十五年にわたって

地域の歴史や文化、伝統などを幅広く紹介してきました。

中でも注目してきたのは、

その土地で暮らす人々の営みです。

取材を重ねるごとに、私たちは

「長崎の魅力は、そこで生きる人たちによって生み出されている」という思いを

強く抱いてきました。

そこで総集編として、三号にわたってこれまで取材させていただいた中から、新しいことに挑戦したり、次の世代へバトンを渡したりと、人生の歩みを進めた方々をもう一度訪ね、その後のお話を伺うことにしました。今回は、その第二弾。

思い出深いあの場所へも足を運びます。

長崎の進化した魅力をぜひお楽しみください。



「東彼杵ひとことの公社」の代表を務める森さん(左から3番目)と一緒にまちづくりを進めるメンバーのみなさん